



ヤブラン [藪蘭]

5本の樹

常緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



科名 キジカクシ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

寄せ植え、ボーダー植栽など幅広く利用できる。光沢のある葉は枝垂れて30cmほどになり、夏から初秋にかけて紫の花穂をいくつも伸ばし、秋に黒い種子をつける。実のように見えるが果皮はなくむき出しの種子で、露出したまま成熟する。フイリヤブランは結実しにくい。



緑葉



花



斑入葉



実

Memo

‘ラン’と付くがユリ科の植物。ほかに、キミガヨラン、クンシランなどもラン科の植物ではない。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花期						■							
	果実										■			
	紅葉													
	施肥	(不要)												
	剪定	(新芽が伸びる前に前年の葉を取り除く)												

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿							
	花	○	○					
	葉							
	紅葉							
	黄葉							
	実							
	香							

ポイント 湿った半日陰地を好むが日当たりが良くても生育する。寒さ、暑さ、潮風に強く管理の手間はからない。斑入の品種は日当たりが良すぎると葉焼けを起すので注意。

剪定 冬になると葉が萎れるので、傷んだ古葉を除去すると見映えが良くなる。春先、新芽が直立するように伸びてくる。前年の葉を取り除く作業は、新葉が枝垂れる前がお薦め。

病虫害 サビヒョウタンゾウムシが発生することがある(元は野菜類の害虫)。幼虫は根を、成虫は葉を丸く食害する。対応策は土壌消毒と成虫の駆除(成虫は飛翔能力がない)。

呼べる鳥  ツグミ・シロハラ